

校庭の桜のつぼみが膨らみ、春の訪れを感じる今日、飯田北いちよう小学校 平成26年度第1回卒業証書授与式を挙行するにあたり、学校の統合開校で大変お世話になりました石井様、栗原様をはじめ、多くのご来賓の皆様方にご多用中にもかかわらず、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、小学校6年間の課程を修了し、本日、本校を巣立つ56名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。こうして、小学校を立派に卒業できることは、皆さんの努力はもちろん、皆さんを支えてくださった地域の方々、ご家族方の支えのお陰だと思えます。「感謝の心」を忘れないでください。

この輝かしい門出にあたり、教職員を代表して、皆さんに感謝の言葉を贈ります。飯田北いちよう小学校は、丁度1年前の4月に二つの学校が統合して開校しました。私たち教職員は、皆さんが一日も早く新しい環境に慣れ、安心して学校生活を送って欲しいと願っていました。おそらく、皆さんのお家の方も地域の皆さんも同じ願いだったと思えます。4月に開校して以来、皆さんはその期待によく応えてくれました。また、いろいろな新しい事に挑戦し、形として残してくれました。新しい友達との出会いも大切にしてくれました。ここにその事がよく分かる作文がありますので、紹介します。

「これからよろしくね」で始まった入学式、「これからよろしくね」で始まった開校式、私が4年生の終わり頃、いちよう小学校と飯田北小学校が統合することが決まりました。最初はとても不安で仲良くなれるか心配でした。でも、6年生になって統合して初めて二組に分かれてから、これまでの友達に加えて新しい友達がたくさんできました。統合して驚いたことが、学校の半分の人が外国人だったことです。中には、去年日本に来たばかりで言葉が分からない子もいて困ったこともたくさんありました。

この経験から、言葉は通じなくても一人の友達として大切にすることが大事なのだと気付きました。それから、統合して1年で、すごく絆が深まったと思えます。それは、喧嘩をしてもいつの間にか仲直りをしていたり、国がちがっても関係なく仲良く遊んでいたりするからです。

友達が笑っているときには一緒に笑い、困っているときには相談に乗ったりする。将来そんな友達になりたいです。なので、今は今の友達を大切に、喧嘩をしてもすぐに仲直りできるような関係を続けていきたいです。

私はこの作文から、皆さんと一緒に学ぶ仲間を大切に作る温かい心を感じました。本校は外国につながる児童が半数を超える、日本の中でも稀に見る学校で、全国的にも注目を集めています。言葉の課題を含め、文化や習慣、宗教が異なる仲間と共に学び、共に遊び、共に活動してきました。今までとは違うかも知れないけれど、相手の思いを感じ、日本人を含めてみんなが安心して取り組むことが出来るように工夫をしてきました。何かを始める時も、一からのスタートでした。時間はかかっても、よい学校にしようと頑張ってくれました。私はそんな皆さんの姿を見てきました。なんて素敵な心を持つ子ども達なんだろうと感心していました。1年間よく頑張ってくれました。「ありがとう」お礼を言います。私たち教職員は皆さんと一緒に飯田北いちよう小学校で活動出来たことを誇りに思っています。卒業生の皆さんは、飯田北いちよう小学校「第1回卒業生」として、後に続く後輩たちに、その素敵な心を伝えてください。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。高い所からではございますが、お祝いを申し上げます。お子様がこのように健やかに立派に成長された姿をご覧になり、また入学してからの6年間の成長を振り返り、感慨も「ひとしお」のことでしょう。心よりお祝い申し上げますと共に、これまでの「飯田北小学校」や「いちょう小学校」に対する皆様方の温かくそして熱いご支援・ご協力に感謝し、心から厚く御礼申し上げます。保護者の皆様には、これからも最も身近な良き相談相手として、子ども達を支えていただくようお願いいたします。 **(通訳)**

結びになりますが、ご多用の中、本校の卒業生のためにご臨席賜りましたご来賓の皆様に、重ねてお礼を申し上げ、式辞と致します。

平成27年3月20日

